



electronica India



productronica India



Messe München

ファイナルレポート

国際電子部品・アセンブリ・マテリアル専門見本市

国際電子部品製造技術専門見本市

2022年9月21日～23日

2022年9月26日

electronica India と productronica India は インド国内におけるエレクトロニクス製造の自立を促進

Summary

- インド国内からの参加者は前回比25%増加
- 来場者数は20,942人、そのうち1,500人がBuyer-Sellerフォーラムに参加
- インド半導体会議の新規立ち上げに成功



Facts & Data

会 期	2022年9月21日(水)～23日(金) 午前10時～午後6時
会 場	インドエキスポセンター India Expo Centre & Mart, Greater Noida
主 催	Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
出 展 規 模	25,000 m ² (2019年: 32,000 m ²)
出 展 企 業	19カ国から325社 (2019年: 18カ国から673社)
来 場 者 総 数	20,942人 (2019年: 26,310人)
主 な 出 展 品	<p><electronica India> : 半導体、センサー、リレー・スイッチ・配線技術、受動部品、モーター・駆動部、ケーブル、アセンブリ・サブシステム、ED/EDA、検査・測定技術、ディスプレイ、電源装置</p> <p><productronica India> : 電子部品製造、一般業務支援・製造サブシステム、PCB 及びその他電気回路用製造装置及びロジスティック、ケーブル加工技術アセンブリ・モジュール・ハイブリッド用製造装置及びロジスティック、材料加工、パッケージング、製造関連サービス、はんだ付け技術</p>
出展日系企業 (公式出展企業として登録されている企業のみ)	協立電機(株)、(株)サキコーポレーション、JUKI(株)、進工業(株)、スミダコーポレーション(株)、双日(株)、日置電機(株)、パナソニックインダストリー(株)、(株)日立ハイテク、マイクロクラフト(株)、ヤマハ(株) 他
専 用 U R L	www.electronica-india.com / www.productronica-india.com

2022年9月21日から23日まで、インド・グレート・ノイダで開催された electronica India と productronica India は、Aatmanirbhar Bharat - 自立したインド - に向けた実行可能なアイデアとパートナーシップを構築し、大盛況のうちに幕を閉じた。さらに、今回の開催によって、エレクトロニクス・エコシステムのための南アジア最大の見本市としての地位を強化した。

ELCINA、ICEA、IESA、ICPAといった業界団体からの多大なる支援を得て、今回はインド国内の製造業の発展と将来のインド経済への投資に焦点を当てた。electronica India と productronica India に対する好評について、ELCINA (Electronics Industries Association of India) の Rajoo Goel 氏は、「見本市と会議全体がこのような高評価を得たことを大変嬉しく思うとともに、主催・運営チームの実行力と格段の配慮に感謝する。

第7回 CEO フォーラムでの講演は、講演者の豊かな経験と豊富な知識に基づいて行われ、慎重に選ばれた非常に質の高いフォーラムとなり、大変多くの人の参加を得た。IPCA からの支援で開催された India PCB Tech 会議は、PCB 業界にとって大変有意義なものであった。また、ELCINA の包括的レポート『インドにおける PCB エコシステム開発のためのロードマップ』を、インド電子情報技術省の Shri Amitesh Kumar Sinha 氏によって、会期中に発表することができた。インド政府が掲げる3,000億ドル規模のエレクトロニクス製造政策に関するビジョンの達成に向けて知識と実行可能なアイデアを交わすことができたことは、大変心強い成果である。今年の CEO フォーラムと India PCB Tech 会議では、付加価値を高める高度な製造エコシステムを構築するための重要な見識を共有することができた」と述べた。



見本市でのハイライトの1つにインド半導体会議の立ち上げがある。この会議は、業界のリーダーや技術者、政策立案者が集まって、インドの半導体とディスプレイによるエコシステムの実現に向けたソリューションについて議論するものであり、ICEA (India Cellular and Electronics Association) と IESA (India Electronics & Semiconductor Association) が主宰している。

インド半導体会議の立ち上げについて、IESA 会長の Vivek Tyagi 氏は、「インドにおける半導体エコシステムの促進を図るこの会議が発足できたことを大変嬉しく思う。インドは半導体製造分野で確固たる地位を築きつつあり、ファブレス設計の強みを生かし、特に半導体とIPの分野に大きな付加価値を引き出している。今回 electronica India と productronica India でインド半導体会議が立ち上げられたことに大きな意義があり、半導体設計・製造における Aatmanirbharta - 自立したインドの実現に期待している」と述べた。



インド電子情報技術省主催の electronics India パビリオンを始め、Uttar Pradesh 州、Andhra Pradesh 州、West Bengal 州、Chhattisgarh 州の各政府がパビリオンを出展したことも注目できる点だ。開催地の Uttar Pradesh 州のパビリオンには Oppo 社や Vivo 社など、同州に製造拠点のある企業が参加した。

今回の electronica India と productronica India は、MatDespens、IPCA Expo との併催である。開催規模は 25,000 m²にも及び、19カ国から 325社の出展によって、3,000点以上の製品が紹介された。また、3日間の会期中に 20,942人が来場

し、将来を見据えたソリューションや製品を調査した。

主催者メッセ・ミュンヘンインド CEO の Bhupinder Singh は、「electronica India と productronica India は業界にとって不可欠な見本市であることが改めて実証されたことを嬉しく思う。前回のグレーターノイダ開催時と比べて、インド国内からの参加者が 25% 増えたことから、今回の成功は明白だ。展示会場や会議で共有された業界を牽引する意見やアイデア、そしてソリューションは、業界の潜在能力と起業家精神を盛り上げ、インドを Aatmanirbhar Bharat ビジョンに近づけていくことに違いない」と述べた。

electronica India と productronica India への出展対象分野は、半導体、ディスプレイ、電子部品、SMT、EMS、PCB を始めとして、エレクトロニクス業界全体にわたって網羅した。

インド半導体会議のほか、成長著しいインドエレクトロニクス産業のニーズを満たすための様々な会議、フォーラムも開催された。CEO フォーラムでは「アセンブリからディープマニュファクチャリングへの移行 – 2026 年までに 3,000 億ドル規模の ESDM 産業の構築」という重要なテーマについての議論が交わされた。今回最も待ち望まれてたイベントの 1 つに India PCB Tech 会議があり、「インド国内で PCB エコシステムを開発するためのロードマップ」が示された。



IPCA Expo とインド PCB 技術会議について、IPCA (インドプリント回路協会) の会長 Thiyagarajan 氏は、「PCB はエレクトロニクス製品のベースとなるコア部品である。IPCA は、技術セミナーから政策連絡会、見本市開催に至るまで、多角的な取り組みによって PCB 業界を強化することを目指している。IPCA Expo と India PCB Tech 会議は、インドの PCB エコシステムを発展させるための重要なプラットフォームであり、electronica India と productronica India とを併催することは、全業界にとって有意義だと考えている」と語った。

出展企業と来場者と結ぶ Buyer-Seller フォーラムは、新しいコンタクトと将来へのビジネス展望を構築する場として、関係者から高い関心が寄せられた。今回は 1,500 を超える対面での会議や商談が執り行われた。参加したバイヤーは、Bosch Automotive Electronics India Pvt. Ltd. 社、Genus Power Infrastructure 社、Havells India Ltd. 社、Mahindra & Mahindra Interface Microsystems 社、Vivo Mobile India Pvt. Ltd 社、Lava International Limited 社、VVDN Technologies Pvt. Ltd. 社、Lava India Ltd. 社、Ola electric, Skanray Technologies Pvt. Ltd. 社などからであった。

次回の electronica India と productronica India は、2023 年 9 月 13 日から 15 日まで、インド・バンガロールの Bangalore International Exhibition Centre (BIEC) で開催される予定。

見本市の詳細情報は、専用ホームページをご参照ください：

electronica India : www.electronica-india.com

productronica India : www.productronica-india.com

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)